

近現代の作家と 芸術

漱石と洋画家・浅井忠、 そのあいをひもとく

夏目漱石は、絵が好きでした。日本近代洋画の先駆者、浅井忠との友情もよく知られています。1900年パリ万国博覧会の折にパリに留学していた浅井は、当時ロンドン留学間もない漱石を訪ねます。ロンドンには「色が無い」と思っていた漱石とは反対に、「色がある」と感じた浅井。その時、浅井が描いた絵から、二人の心の「あいを」考えます。



2023年
6/2 金
15:00~16:30

参加無料
要申込
先着順

- 会場** 名古屋外国語大学
日進キャンパス 701教室
- 定員** 対面式のみ 70名
現代国際学特殊講義/グローバルキャリア講義を履修している学生は申込不要。
- 対象** どなたでも参加いただけます
- 共催** 名古屋外国語大学現代国際学部
ワールドリベラルアーツセンター

Profile



太田 治子 (おた はるこ) 作家、著述家

1947年、神奈川県出身。父は昭和の作家太宰治、母は太宰の代表作『斜陽』の主人公のモデルとなった太田静子。明治学院大学卒業。1976~79年、NHKテレビの『日曜美術館』司会アシスタントとして活躍。86年、母との暮らしをつづつた『心映えの記』(中央公論社)で第1回坪田譲治文学賞を受賞し、本格的に執筆活動。美術に造詣が深く、主な著書に『絵の中の人生』『青い絵葉書』(新潮社)、『恋する手』(講談社)、『夢さめみれば 日本近代洋画の父・浅井忠』(朝日新聞出版)、『石の花 林芙美子の真実』(筑摩書房)、『明るい方へ』(朝日新聞出版)、『星はらはらと 二葉亭四迷の明治』(中日新聞社)など多数。現在、栄中日文化センターで芸術関係の講座を担当。

応募締切 5月29日(月) 23:59

※応募者多数の場合は先着順とさせていただきます。
定員になりましたら締切日前でも募集締切とさせていただきます。

申込方法

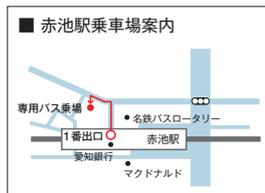
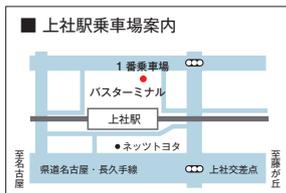
準備の都合がありますので、事前のお申込みをお願いいたします。
右記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込んでいただくか、下記URLをパソコン等で直接入力して、申し込みフォームに必要事項を入力、送信してください。

<https://req.qubo.jp/wlac/form/20230602>



本学へのアクセスについて

当日、駐車場はありませんので公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。



イベントの開催にあたって

- ◎新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、開催方法を変更させていただく場合があります。ご来場前に必ず当該イベントのホームページにて開催の有無をご確認ください。
- ◎会場では感染症対策のため、換気を行う場合があります。発熱・咳などの症状のある方は、参加をご遠慮ください。
- ◎本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。イベント中は記録用として撮影を行います。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることとなりますのでご了承ください。

問合せ先 名古屋外国語大学 ワールドリベラルアーツセンター
Tel: 0561-75-2164 (直通) mail: wlac_gg@nufs.ac.jp